

平方の鹿島神社について

大野 悦治

「所在地」

平方は、越谷市の北端にあり、かつては利根川本流の河道であった。会の川と古利根川に囲まれた島状の地で、集落は自然堤防上にある。

旧村社の浅間神社が村全体の鎮守として信仰されているほか、村組ごとに祀っており、当社もそうした組（平方東前）で祀る神社の一つである。

「社号」 鹿島神社

（越谷市内59社中、「鹿島」名は 当社のみ）。

「祭神」 武甕槌命

雷神、刀剣の神、武神として信仰されている。

「歴史」

由緒はすでに忘れられているが、境内裏に流れる古利根川は、江戸期より近郷や江戸との舟運が盛んであった。

当村では、文化十年（一八一三）当時、すでに船を持つ船乗稼業の者がいたことが記録に見え、慶応元年（一八六五）には、当村で川下小船を持つ九名の者が、江戸から下肥を運ぶための極印鑑札（しんせま）の下付を川船役所に願い出ている。

これは、古利根川沿いに住む字東前の者が農家の余業としていたものと思われる。

さらに、船舫（せふ）い、荷を積み降ろすための小規模な河岸を当社近くに設けていたとも考えられ、船を舫うため水中に立てる杭を「かし」といい、かしのある場所を指す「かしま」が、常陸国（ひたち）一宮鹿島神社（いちのみや）の名の由来ともされることから、武神だけでなく、航海安全の神として信仰されてきたこの神を当地の関係者が勧請したことは想像するに難くない。

また、境内には船運関係者で結成されたと思われる当村の水神講中により嘉永四年（一八五二）に建てられた「水神宮」の石祠がある。

古利根川が荒れ狂うのでなだめようと建立されたものとの説もある。

境内の二本の銀杏は、樹齢三百年ともいわれることから、創建当時に植えられたものと考えられる。

「年中行事」

- ・ 一月十日 冬御備社 おびしゅ

「冬御備社は昭和二十年頃までは月遅れの二月十日」

- ・ 七月九日 夏御備社 おびしゅ

・ 過去には、十月九日に月遅れの「クンチ」があり、前日の夜には小学生の男子が拝殿で一夜を過ごすお籠りがあった。

境内に飾った絵灯籠に火をともして参拝者を迎える。この賽銭はあとで分配されるので九日待ち遠し一夜であった。

「祭事模様」

(氏子)

氏子地域は平方の字東前で古くから当地に住む、三十戸（現在は二十戸）が氏子となっている。氏子は更に上組、中組。下組の三組に分かれ、総代は各組から一名ずつ選出される。

総代の任期は当初十年であったが、現在は八年と短くなっている。

御備社の準備に当たる当番は、冬と夏のそれぞれに当番がおかれ、一回ごとに家順の三名ずつが当たる。

(冬御備社)

当日、当社と当番（宿）（現在の宿は本殿に変更されている）の庭にのぼりが立てられ、宿の床の間に「鹿島大神宮」の軸をかけ、その前に本殿より遷した二本の白幣を奉安し、当番が用意した神饌しんせんが供えられる。

冬御備社の料理は、宿では、前日の夜に「イイモリ」と呼んで、当番と翌年の当番、更に世話人合せて九名の男性が集まり、翌日に出す料理とそっくり同じものを作るのが例となっている。

「きんぴら」、「葱ねぎめた」、「野菜天ぷら」、「芋の煮ころがし」、「おひたし」、「吸物」
『御飯』のほか、一人一尾宛に出される「鮎の甘露煮」は特に欠かせない一品であった。

しかし、平成元年からは、主な料理は仕出しで賄うこととしたため、当番の手造り料理も天ぷらやきんぴら程度になったことから「イイモリ」も当番だけ行う形となっている。

昭和四十年代までは、冬御備社の当番となると、境内裏手にある神社の田を鋤

作し、其の田でとれた米を使っていた。

これらの準備が整う午後一時に氏子各家から男性が一名出席し、宮司により祭典が執行された後、当番が雄蝶雌蝶おぢようめちゆうとなつてそれぞれが重盃をもつて着座した上座と下座の両方から順に三々九度の盃を交してゆく。その後、直会なおらいとなり当番の引継ぎがある。

特に冬帯者の当番で宿になる事が決まると、新年早々、神様や氏子の人々を迎えるので、座敷の畳替えや障子や襖の張り替えを行う家が多かった。

(夏御備社)

当社の本殿で行われ、かつては、氏子の老若男女が全員集まって直会を行なっていたが、現在は各家一名あての出席となっている。

料理は、大半を仕出しにより調達している。

現在は、冬御備社、夏御備社とも本殿で行っており、祭事の宮司は、姫宮神社(宮代町)から派遣されている。

(参考資料)

- ・(二〇〇二)『越谷の神社』久伊豆神社奉仕会
- ・(一九九八)『埼玉の神社 北足立 児玉 南埼玉』埼玉県神社庁
- ・(一八三〇)『新編武蔵国風土記稿』
- ・(一八八二)『武蔵国郡村誌』
- ・(一九七五)『越谷市史 第一巻 通史上』越谷市役所



「平方・鹿島神社」



「埼玉県神社庁」から提供